

SDGsをビジネスチャンスに！

～中小企業のためのSDGs経営導入のポイント～

2022年3月

独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部

0. 持続可能な開発目標(SDGs)とは

SDGs:Sustainable Development Goals



- ✓SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を年限とする **17のゴール・169のターゲット**で構成される世界全体の目標です。企業がSDGsの達成に向けた社会課題解決に取り組むことにより、**新サービスや新商品の開発、新たな市場の開拓、人材育成、取引先等からの信頼獲得**など、**企業の価値向上・競争力の強化**につながる可能性があります。
- ✓SDGsは、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っており、逆に言えば、すべての人が参加するユニバーサル（普遍的）なものであり、**間違いのない未来の形**です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



0. 中小機構の概要

✓ 中小機構は、国の中小企業政策の中核的な実施機関として、起業・創業期から成長期、成熟期に至るまで、企業の成長ステージに合わせた幅広い支援メニューを提供しています。地域の自治体や支援機関、国内外の政府系機関とも連携しながら中小企業の成長をサポートしています。2021年3月には『中小企業SDGs応援宣言』を発表し、様々な支援事業においてSDGsの考えを尊重することとしています。



1. なぜSDGsがビジネスチャンスにつながるのか

1. なぜSDGsがビジネスチャンスにつながるのか

<SDGsの効果>

①SDGsの対象である社会課題が**市場に直結**

市場機会の価値 **年間1320兆円**（12兆ドル） ※1

※UN（国際連合）Business & Sustainable Development Commission「Better Business, Better World」 report

②SDGsは世界の**共通言語**（価値観）

企業活動においてSDGsを意識することは当たり前

③取引先、金融機関、消費者からの**信頼獲得**

SDGsが取引条件や企業評価、商品購入の
判断基準となる

④コンプラ、法令順守への対応

さらに、社会的な評価にもつながる



1. なぜSDGsがビジネスチャンスにつながるのか

<ビジネス上の効果>



① 社会にイノベーションをもたらす新商品開発

社会課題解決、市場、顧客ニーズに対応したサービス展開

例) 循環型消費、リサイクル、カーボンニュートラル等

② 新しい人材の確保、人材育成、従業員の定着率・モチベーション向上

社会に求められる企業で働きたい、業務に対する責任感を持つ

また、若者は、未来の顧客、取引先、投資家でもある

③ 企業のブランド力の向上

企業の信頼度を高め、商品・サービスの付加価値が向上

1. なぜSDGsがビジネスチャンスにつながるのか

実は、中小企業はSDGsと相性がいい！

- 中小企業は、意思決定が早くスピード感をもって対処できるため、
顧客ニーズへの対応や**ニッチ分野**への参入がしやすい
- 得意領域を活かした**地域内連携**による**新事業**に**取り組みやすく**、**社会貢献**にも等にもつながりやすい
- 👉 **地域の埋もれた宝を発掘、再評価することによりSDGsに貢献**

2. SDGs経営を実現するために ～SDGsを経営に導入するステップ～

2. SDGs経営を実現するために

SDGs経営の導入における4つのフェーズ

<経営者・経営幹部が対応>

- ①SDGsの理解（経営者の理解、意思決定）、企業理念の確認
- ②将来ビジョンの設定、方向性検討、プロジェクトチーム結成

<主に各部門のリーダー、メンバー、経営企画部門が対応>

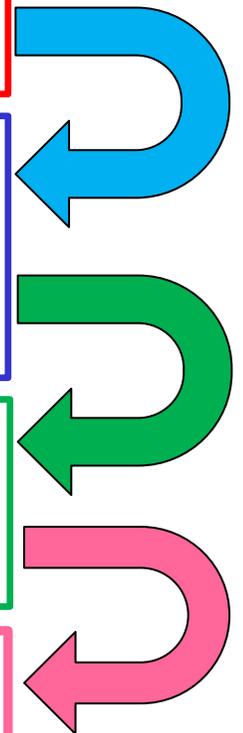
- ③目指すべき方向性検討
目指すべき姿に近づくための取り組みに向けた「**アイデア出し**」

<経営者、経営幹部、各部門のリーダー、部門が対応>

- ④優先課題の決定、目標等の設定、⑤事業計画、行動計画策定

<全社的対応>

- ⑥社内浸透、外部等発信（コミュニケーション強化）、P D C A



2. SDGs経営を実現するために

<経営者・経営幹部が対応>

①SDGsの理解（経営者の理解、意思決定）、企業理念の確認

<視点>

自社の強みとは

17のゴール・169のターゲットの何を指すか

企業の価値向上・競争力の強化につながる可能性がある分野は何か



<チェックリストでの現状把握、自社の現状を確認>

- ・ [中部地方ESD活動支援センター \(esdcenter.jp\)](http://esdcenter.jp)
- ・ [SDGsとは | グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン \(ungcjin.org\)](http://ungcjin.org)



2. SDGs経営を実現するために

＜経営者・経営幹部が対応＞

② 将来ビジョンの設定、方向性検討



＜将来ビジョンの設定、方向性検討の切り口＞

(1) イノベーションによる差別化

(2) バリューチェーンでの改善

(3) パートナーシップ、協業により強化



2. SDGs経営を実現するために

(1) イノベーションによる差別化

<差別化のポイント>

製品・サービスのイノベーション（事業面）

例）省エネ・低環境負荷商品の開発、防災分野向け商品の開発

事業プロセスのイノベーション（オペレーション面）

例）売れ残りリスクを減らす仕組みづくり、地域での協業による効率化、女性が働きやすい職場づくり

マーケティング・流通のイノベーション（販売面）

例）再利用・リターナブル容器、規格外品の買い取り・販売、SNS活用・市場分析



2. SDGs経営を実現するために

(2) バリューチェーンでの改善



自社の「バリューチェーン（価値連鎖）」全体で考え、どの部分で自社の強みを発揮するか、差別化するか大まかな方針を検討

- ・効率化によるコスト削減
- ・資源、材料消費量の削減、見直し
- ・物流、流通の改善
- ・教育、人材育成の強化
- ・高品質材料の使用
- ・新しい調達先の確保
- ・マネジメント等の工夫
- ・コミュニケーションの改善



2. SDGs経営を実現するために

(3) パートナーシップ、協業による強化

- ・地域との連携や支援活動（教育、環境、人づくり等）
- ・地域でのサプライチェーン、同業連携等関係強化
➡ BCPにも有効！

・地域資源活用や地域課題解決に向けた取り組み

- ・サポート機関など支援機関との連携



2. SDGs経営を実現するために

＜主に各部門のリーダー、メンバー、経営企画部門・幹部が対応＞

※小規模企業は経営者が参加

③目指すべき姿に近づくための取り組みの「アイデア出し」

自社、部門での事業を棚卸して、
「SDGs視点を取り入れ、事業や企業で付加価値が出せる点」
のアイデアを出し、SDGsのゴールと紐づけする

【アイデア出しの視点】

自社事業の棚卸し(1.調達、2.製造、3.流通・物流、
4.販売・マーケティング、5.サービス・アフターケア)のほか、
6.教育・人材育成、7.開発など
業界や企業のしがらみ、慣習にとらわれず
自社の強みを探し出す



2. SDGs経営を実現するために

＜経営者、経営幹部、各部門のリーダー、部門が対応＞

④優先課題の決定、目標等の設定、⑤事業計画、行動計画策定

優先課題をどのように決定するか

＜視点＞

- ・SDGsの観点から差別化、競争力強化につながるか
- ・取引先のニーズや社会課題への対応につながるか
- ・自社にとって持続可能な試みであるか
- ・地域課題の解決や地域連携への可能性はないか

＜経営への落とし込みで避けるべきこと＞

- ①本業とかけ離れた取り組みが多くなること
- ② 寄付、慈善的活動ばかりが目標となること
- ③自社に都合がよい情報のみを強調すること(SDGsウォッシュ)



2. SDGs経営を実現するために

<全社的対応>

⑥社内浸透、外部等発信(コミュニケーション強化)、PDCA

社内浸透、外部発信(コミュニケーション強化の方法)

<取り組み例>

自社の事業所等に「**取り組み、スキーム、目標**」を掲示する
事業計画の進捗等を評価する。

社内取り組みの発表会を開催する。

プレスリリースを行う。

新製品や新サービス展開時に、**SDGsとのつながりをアピール**する。

イベントや展示会の説明時に、**SDGsの取り組み**を伝える。

会社概要、HP等に取り組みの**動画**を掲載する。

定期的にアイデア出し等を行い、内容のメンテナンスを行う。



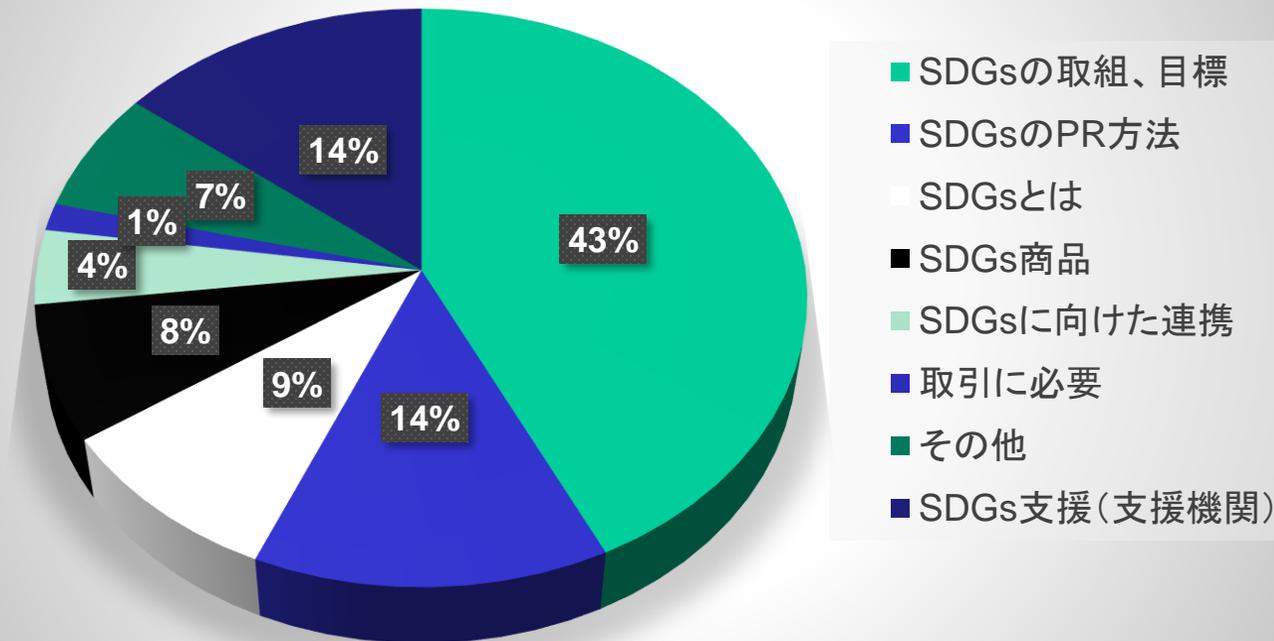
3. 中小企業のSDGs取組事例

3. 中小企業のSDGs取組事例

<SDGs相談窓口の相談内容>

令和3年7月に開設した北陸本部のSDGs相談窓口では、1月末までに260件以上の相談対応を行った。最も多いのが「SDGの取組・目標」に関するもので43%、次に「SDGsのPR方法」に関するもので14%となっており、既にSDGsについては知っているが具体的に何をどうすればよいかが課題となっており、「SDGsとは」との基本的な相談は9%に留まっている。その他に係るものとしては「カーボンニュートラル」に関するものが多かった。

SDGs相談の分類



SDGsを如何に経営に活かすかを考えはじめていますね！



3. 中小企業のSDGs取組事例

「福井県産間伐材」を活用した箸の開発・販売

スタイル・オブ・ジャパン株式会社

(福井県小浜市 従業員3名)

雑貨、インテリアの企画、製造、販売



・従来のような輸入木材や環境に有害なプラスチックでの箸づくりに依存せず、福井県産の間伐材での箸づくりを通じて陸上資源を有効活用するとともに脱炭素社会の実現にも貢献

- ・林業の支援になり、森林を活性化
- ・伝統工芸(若狭塗)に新しい価値をもたらし、地域産業の活性化に貢献



欧州の展示会ではSDGs視点の製品が注目を浴びる(スタイル・オブ・ジャパン株式会社のブース)



3. 中小企業のSDGs取組事例

「生花より長持ちするプリザーブドフラワー事業」の強化

株式会社アプラス

(石川県加賀市 従業員32名)
伝統工芸品の企画・製造



- ・生花より長持ちするプリザーブドフラワー事業の強化により生花の廃棄や運搬によるロスを減らし、水や二酸化炭素の削減につなげる事業を展開
- ・経営者、経営幹部、従業員等でSDGsの視点を取り入れた事業展開を議論し、社内が活性化。
新たな自社ブランドの立上げに挑戦！



SDGs視点を入れた事業のアイデアを社内で議論

3. 中小企業のSDGs取組事例

「瓦・レンガ」再利用の舗装材

株式会社エコシステム

(石川県能美市 従業員3名)

リサイクルプラントの設計、製造

2018年11月SDGsビジネスコンテスト最優秀賞、
SDGsビジネスアワードグローバルイノベーター賞、
同年12月、いしかわエコデザイン賞大賞を受賞。



- ・リサイクル困難であった瓦やレンガの窯業系廃棄物をリサイクルし有効活用
- ・透水・保水効果を持ち、ヒートアイランド現象や都市型洪水の軽減にも寄与するエコで強固な舗装材として提供
- ・都市の歩道や園路、広場に最適な路面環境を提供
- ・海外展開にも挑戦中



瓦・レンガを再利用した舗装材

3. 中小企業のSDGs取組事例

自社技術を活かした新分野の商品開発

谷水加工板工業株式会社

(兵庫県丹波市 従業員25名)

断熱防音材製造



- ・防音事業の技術力を活かして「個別空間ができる持ち運べる集中デスク」を開発
- ・被災地の避難者が半年程度安心して暮らせる「被災者向け組み立て式パーテーション」を開発
- ・社員教育に力を入れ、全社員に学びの場を提供し、その学びを活かすことができる社内環境の整備
- ・自社で運営する託児所事業の無料券を社員の妻に配布
- ・リモートワークの実現、IT化の整備、都市部人材の活用
- ・女性優遇ではなく長所や能力に合わせた役割分担
- ・社内コミュニケーションの強化



3. 中小企業のSDGs取組事例

日本の出汁文化を伝える取り組みで地域に貢献

株式会社野田商店

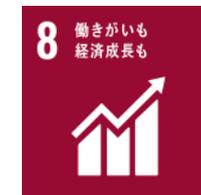
(和歌山県海南市 従業員9名)

乾物、調味料等食品卸

- ・小学校、幼稚園等への出張授業、講演
「乾物でダシをとるなど日本食文化を伝える取り組み」
- ・地域の料理教室への参画
- ・量り売りへの対応 「消費者が必要な分を売る対応」
- ・賞味期限等の制約がある商材の活用
- ・食材ロス軽減策への対応
- ・従業員の言葉でSDGsを説明する環境を整備
- ・責任感の醸成
- ・事業承継をきっかけとした新経営者のリーダーシップ



「必要な分だけ」量り売り店舗イメージ



4. 中小機構のSDGs支援施策

①SDGsに関する相談（無料）

中小企業のためのSDGs相談窓口

SDGsに精通するアドバイザーが、中小企業の皆様の課題や悩みに対し相談に応じます。WEB・電話相談も受け付けています（無料）

中小企業のSDGsに関するお悩みにきめ細かく対応します。
※事前予約が必要です。

事業詳細は、中小機構北陸本部企業支援課 076-223-5546 まで

【相談例】

- ・SDGsをどうビジネスに生かしたらよいか。
- ・SDGsに取り組むとどんなメリットがあるのか。
- ・SDGsを商品開発や販路拡大につなげたい。
- ・社内人材の育成、モチベーション向上につなげたい。



経営相談 中小機構北陸

検索

②SDGsに関するマッチング支援



ビジネスマッチングシステム（ジェグテック）の活用



ジェグテックとは、販路開拓、新製品開発、事業連携等に意欲的な中小企業と、国内大手企業・商社、大学・研究開発機関、海外企業をつなぐ、B2B（企業間取引）のマッチングサイトです（登録・利用料は無料）。

国内中小企業2万社、大手企業600社、海外企業8000社が活用しています！

ジェグテックを活用し、様々な技術やサービスを持つ企業とのパートナーシップにより、より高い次元のSDGsの目標を実現できます！

事業詳細は、中小機構北陸本部企業支援課 076-223-5546 まで

【マッチング例】

- ※端材の活用先、リサイクル事業での連携先の確保
- ※SDGs分野での連携、協業先探し
- ※SDGs貢献商品の販売、調達



ジェグテック

検索

③SDGsの課題を解決する専門家派遣

ハンズオン支援(専門家による伴走型支援)

企業に対し継続的に専門家を派遣し、SDGs経営導入に向けた事業計画策定、SDGs視点での売上拡大・販路開拓、ビジネス展開等の課題を解決していきます。(有料支援)

事業詳細は、中小機構北陸本部企業支援課 076-223-5546 まで

<主なSDGS支援テーマ>

- ・SDGs経営導入、事業計画策定
- ・売上拡大、販路開拓
- ・新分野進出、新商品開発
- ・経営戦略の見直し、生産性向上
- ・品質向上、改善、営業力強化 など



中小機構 ハンズオン

検索

④SDGsに関する情報提供

「J-Net21」による中小企業のためのSDGs活用情報

中小機構が運営する経営情報サイトJ-Net21内にSDGsの特設ページを開設し、様々なSDGs関連情報やSDGsに取り組む企業の事例等を公開中！

J-Net21 SDGs

検索

中小企業のためのSDGs活用活用ガイドブック

中小企業がSDGsを活用し、持続可能な企業経営を行っていくためのガイドブックを提供しています。

中小企業のためのSDGs活用ガイドブック(全国版) (smrj.go.jp)



中小機構は、中小企業の様々な経営課題
や新しい挑戦に対し、幅広い支援メニューで
支援いたします。

まずはお気軽にご相談ください。

支援メニューの詳細は

中小機構北陸

検索



【お問い合わせは】

独立行政法人中小企業基盤整備機構 北陸本部 企業支援課
〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル10階

電話：076-223-5546